

施策 No.48 平和意識の高揚										基本計画 掲載頁	128～129
総合評価	A：想定以上に 進捗した	今後の 方向性	I：現状のまま 継続	施策展開の評価数		A	1	B	0	C	0
				(参考)事務事業評価の実施状況		A	0	B	0	C	0
成果	平和意識の高揚を図るため、平和展を開催し、庁舎に懸垂幕を設置するとともに、原爆死没者の慰霊及び平和祈念の黙とうについて周知を行った。また、「ノーベル平和賞受賞記念被団協・田中照巳氏講演会」を開催した。			成果・課題を 踏まえた今後の 対応方針	引き続き、平和展を開催や啓発活動を通じて、平和意識の高揚に努めている。						
課題	戦争の記憶を風化させることなく、平和の尊さ、戦争・核兵器の悲惨さを広く市民に周知し、平和意識の高揚につなげるため、平和事業を恒常的に実施していく必要がある。										

主な施策展開の進捗状況（定性的な評価）

【評価の基準】 A：想定以上に進捗した B：順調に進捗した C：進捗が遅れた

(1) 平和意識の高揚	評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
1 新座市健康平和都市宣言の趣旨の通り、平和の尊さや大切さを考える機会を提供し、市民の平和意識の高揚に努めます。	A	・平和意識の高揚を図るため、市民ギャラリー1で平和展を開催（令和6年8月1日～9日）し、市役所第二庁舎に懸垂幕を設置した（令和6年7月22日～8月30日）。 ・原爆死没者の慰霊及び平和祈念の黙とうについて周知を行った。 ・「ノーベル平和賞受賞記念 被団協・田中照巳氏講演会（令和7年2月12日）」を開催した。	人権推進室

施策のK P I（重要業績評価指標）

【達成度の基準】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：目標を下回る指標値

[illegible]